

5. 介護保険

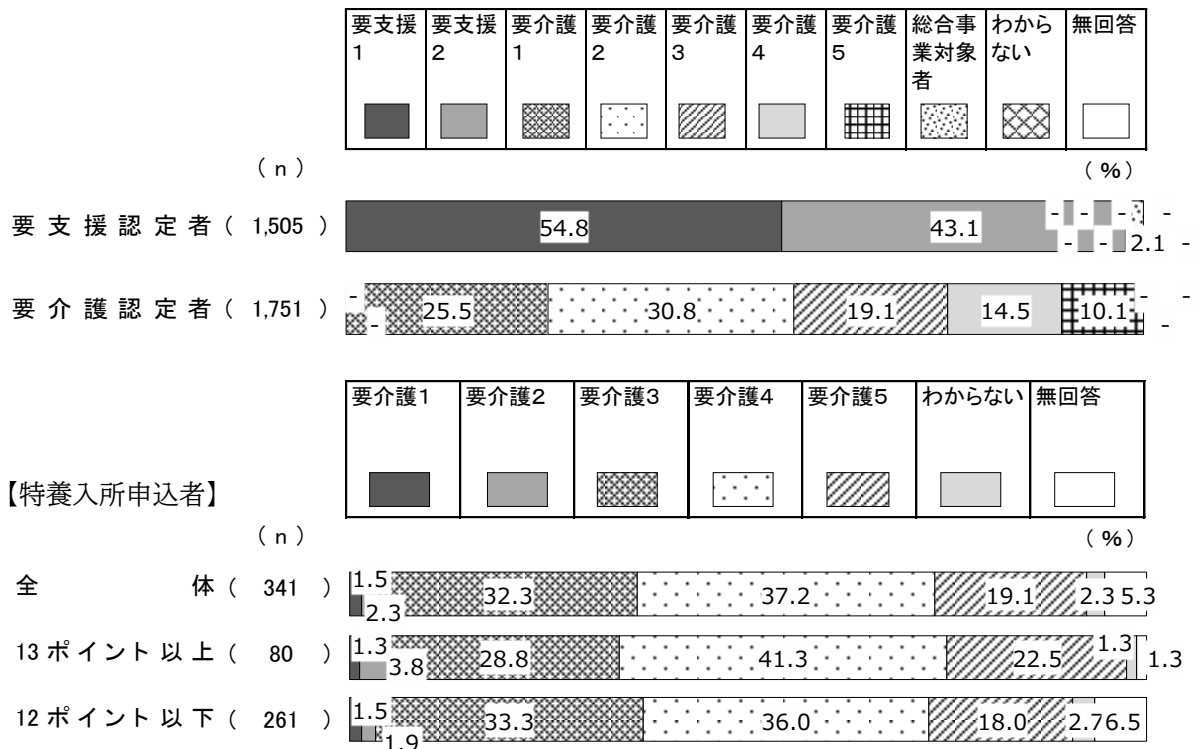
(1) 要介護認定の状況

①要介護度

○要支援認定者では、「要支援1」(54.8%)が最も高く、次いで「要支援2」(43.1%)の順となっている。

○要介護認定者では、「要介護2」(30.8%)が最も高く、次いで「要介護1」(25.5%)の順となっている。

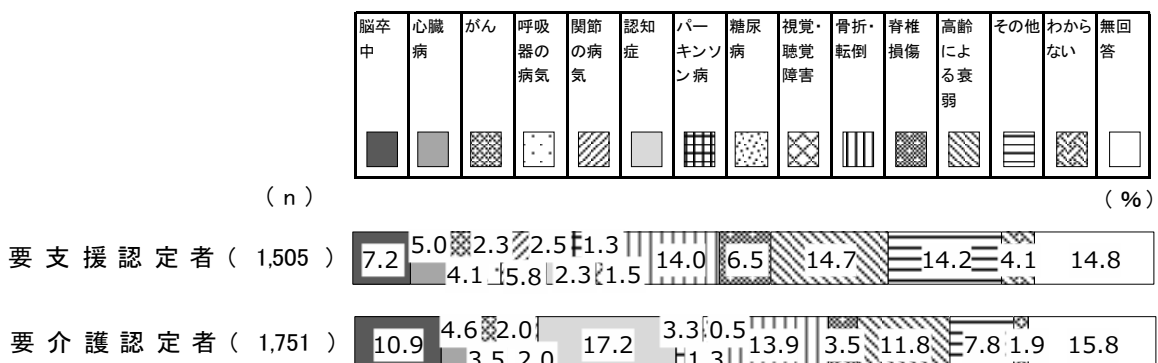
○特養入所申込者では、「要介護4」(37.2%)が最も高く、次いで「要介護3」(32.3%)の順となっている。



②要介護認定を申請した主な原因

○要支援認定者では、「高齢による衰弱」(14.7%)が最も高く、次いで「骨折・転倒」(14.0%)の順となっている。

○要介護認定者では、「認知症」(17.2%)が最も高く、次いで「骨折・転倒」(13.9%)の順となっている。

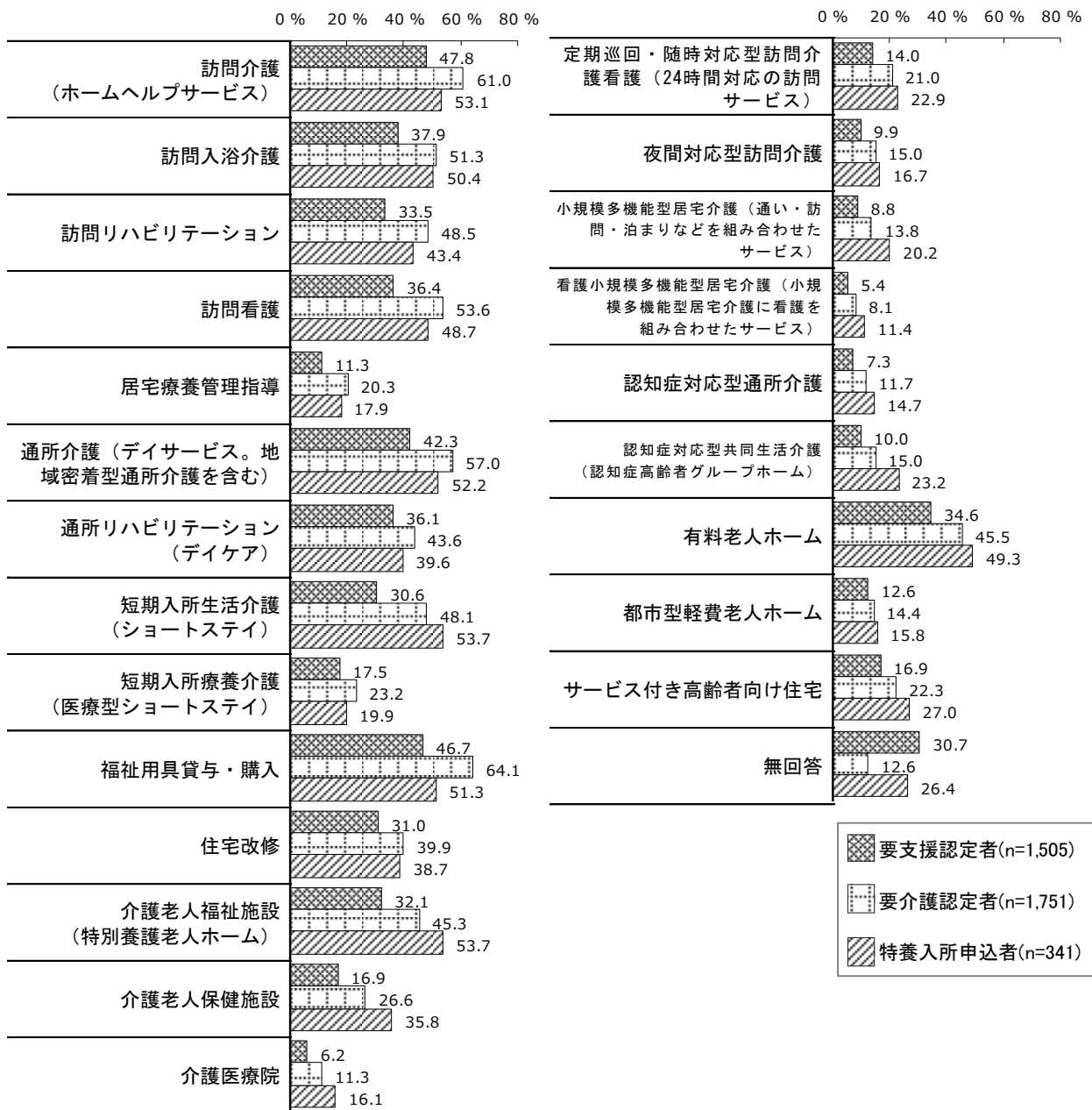


(2) 介護保険サービス

①介護保険サービスの認知度

- 要支援認定者では、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(47.8%)が最も高く、次いで「福祉用具貸与・購入」(46.7%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「福祉用具貸与・購入」(64.1%)が最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(61.0%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「短期入所生活介護（ショートステイ）」および「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(ともに53.7%)が最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(53.1%)の順となっている。

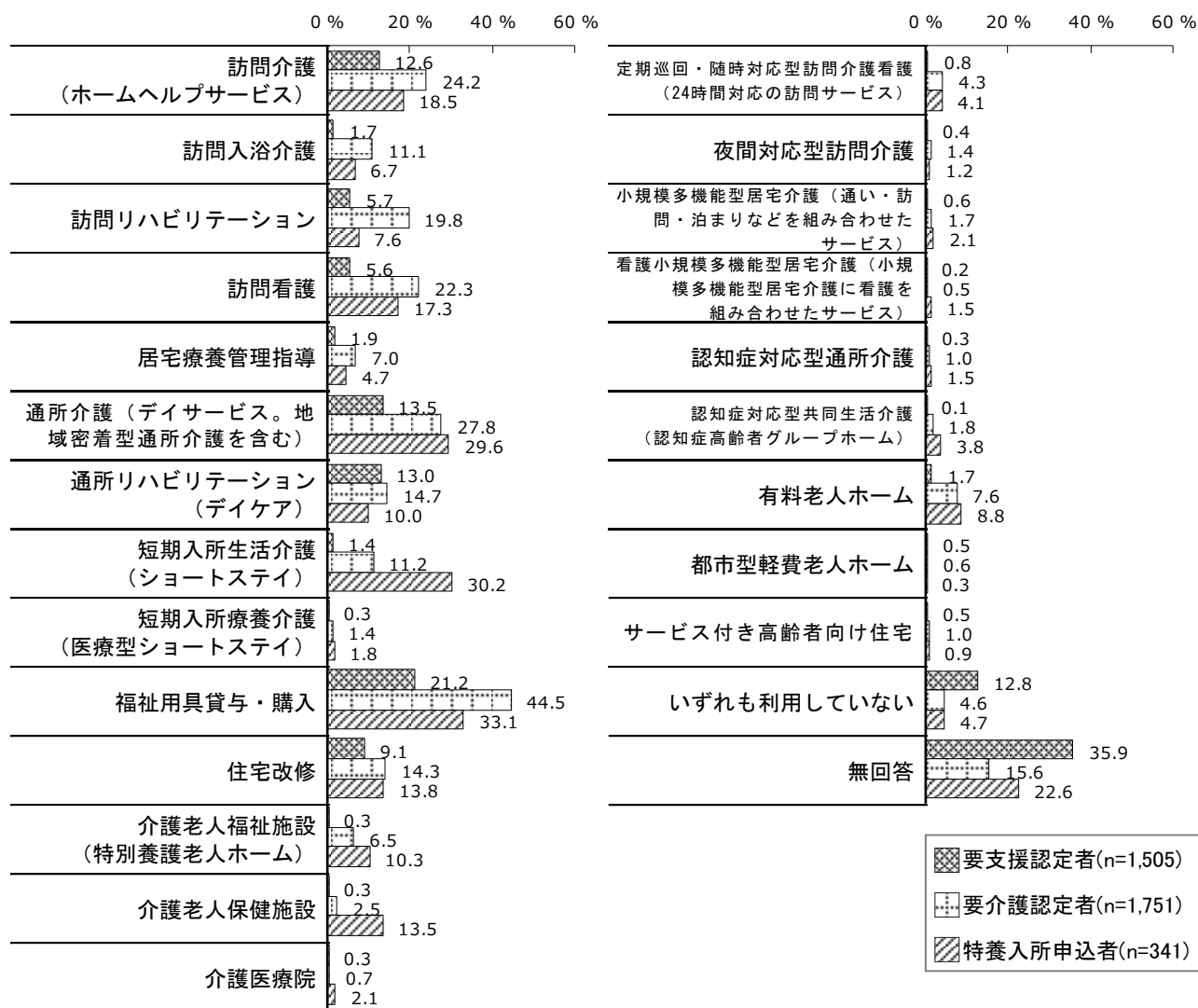
(複数回答)



②介護保険サービスの利用状況

- 要支援認定者では、「福祉用具貸与・購入」(21.2%)が最も高く、次いで「通所介護(デイサービス。地域密着型通所介護を含む)」(13.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「福祉用具貸与・購入」(44.5%)が最も高く、次いで「通所介護(デイサービス。地域密着型通所介護を含む)」(27.8%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「福祉用具貸与・購入」(33.1%)が最も高く、次いで「短期入所生活介護(ショートステイ)」(30.2%)の順となっている。

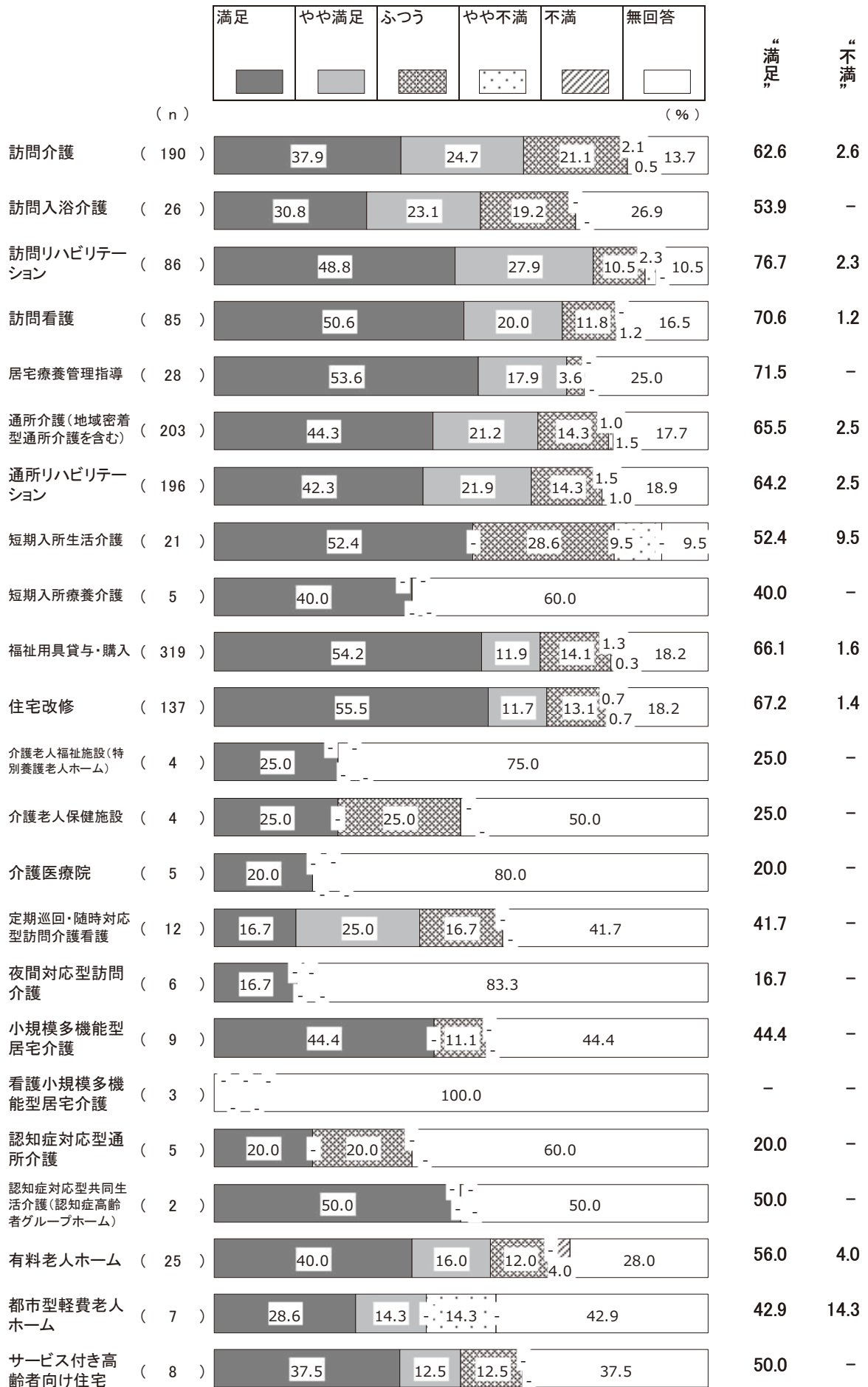
(複数回答)



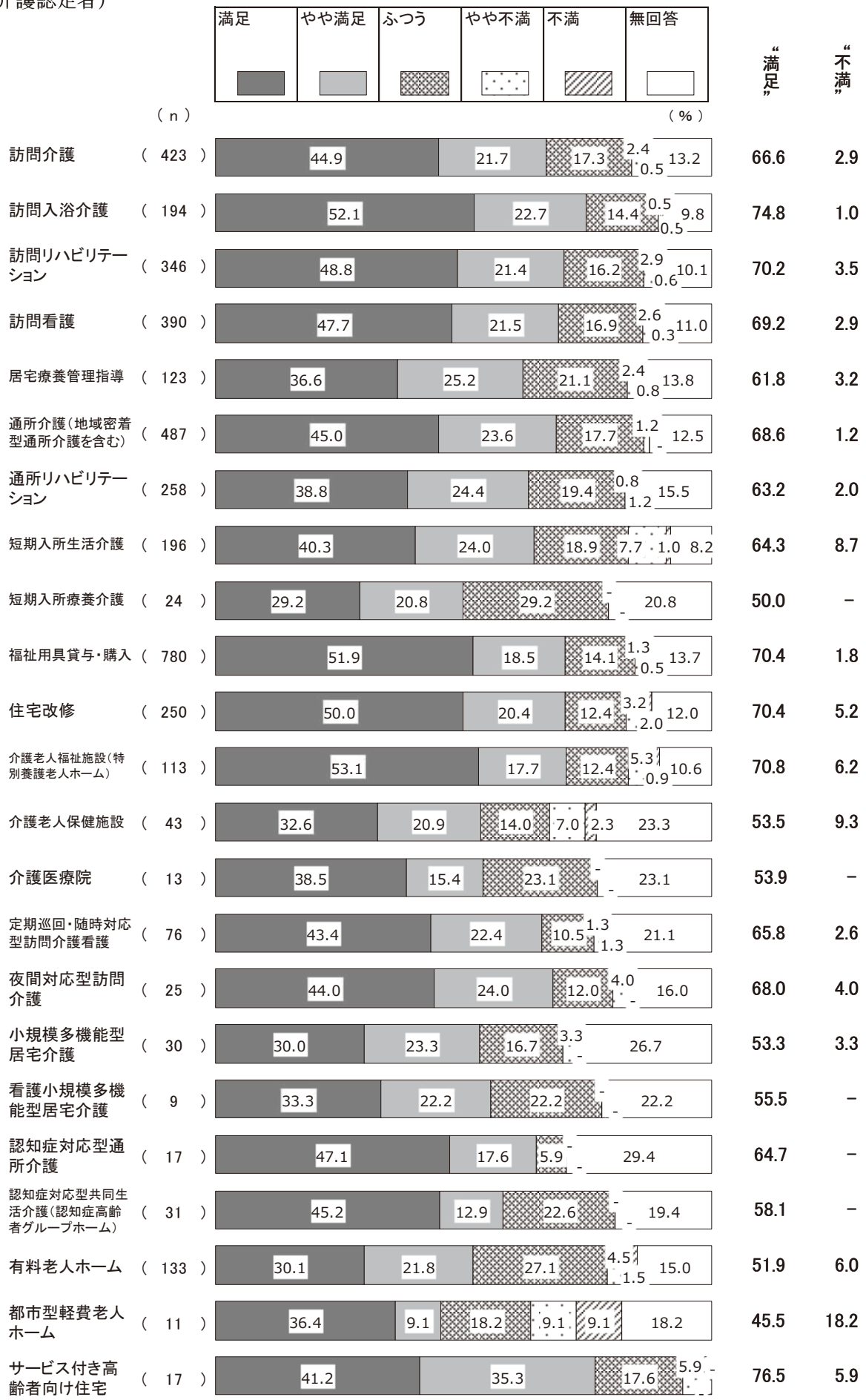
③介護保険サービスの満足度

- 介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と無回答を除く）と回答した人の利用しているサービスの満足度は、要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者いずれも、各サービスの“満足”（「満足」と「やや満足」の合計）が“不満”（「不満」と「やや不満」の合計）を上回っている（※特養入所申込者の「有料老人ホーム」を除く）。

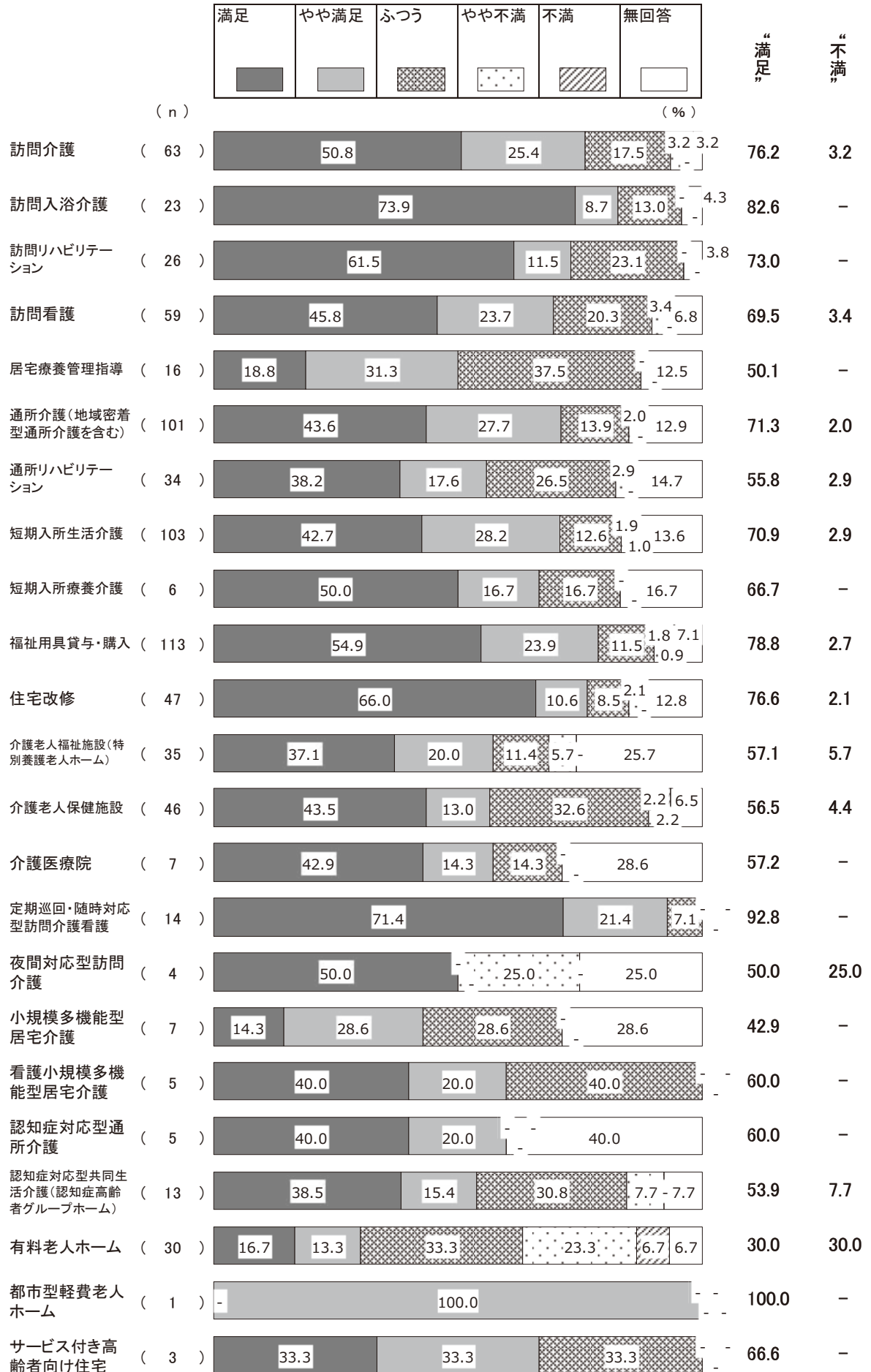
(要支援認定者)



(要介護認定者)



(特養入所申込者)

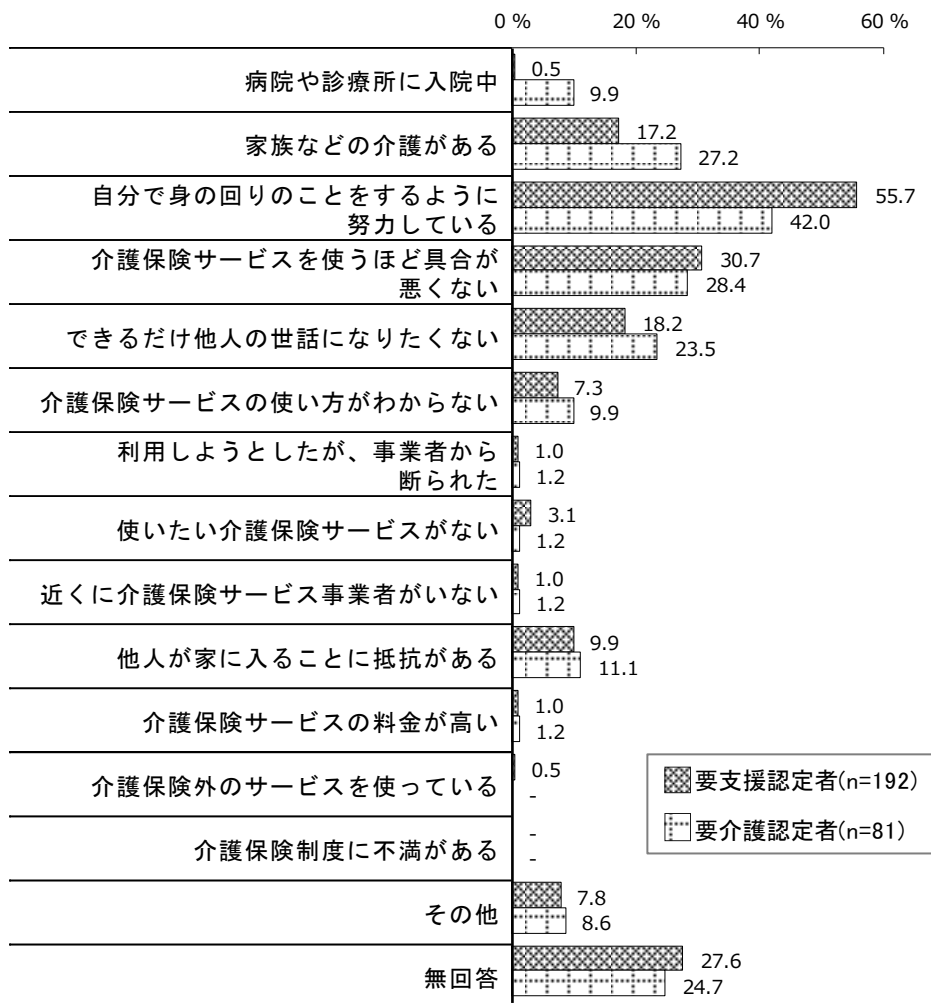


④介護保険サービスを利用していない理由

○介護保険サービスを「いずれも利用していない」と回答した人のサービスを利用していない理由は、要支援認定者では、「自分で身の回りのことをするように努力している」(55.7%)が最も高く、次いで「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」(30.7%)の順となっている。

○要介護認定者では、「自分で身の回りのことをするように努力している」(42.0%)が最も高く、次いで「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」(28.4%)の順となっている。

(複数回答)

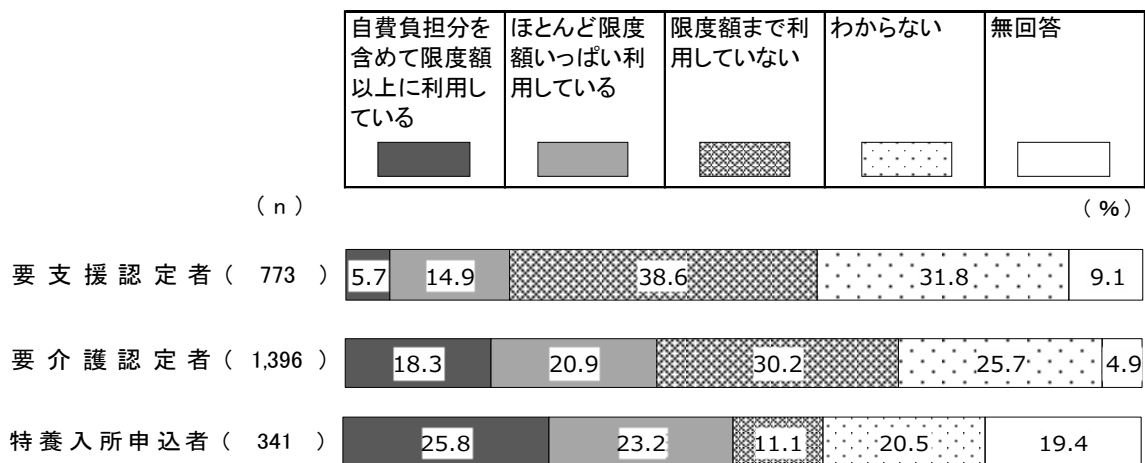


(3) 支給限度額に対する介護保険サービスの利用

①支給限度額に対する介護保険サービスの利用状況

○介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と無回答を除く）と回答した人の支給限度額に対する介護保険サービスの利用状況は、要支援認定者、要介護認定者ともに、「限度額まで利用していない」が最も高く、それぞれ38.6%、30.2%となっている。

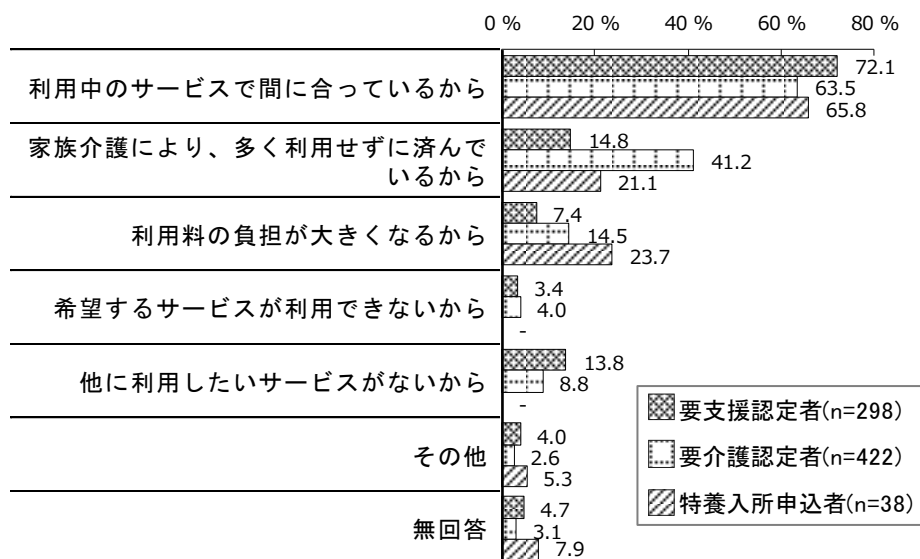
○特養入所申込者では、“支給限度額まで利用している”（「自費負担分を含めて限度額以上に利用している」と「ほとんど限度額いっぱい利用している」の合計）が49.0%となっている。



②支給限度額まで利用していない理由

○支給限度額に対する介護保険サービスの利用状況で「限度額まで利用していない」と回答した人の理由は、要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者いずれも「利用中のサービスで間に合っているから」が最も高く、それぞれ72.1%、63.5%、65.8%となっている。

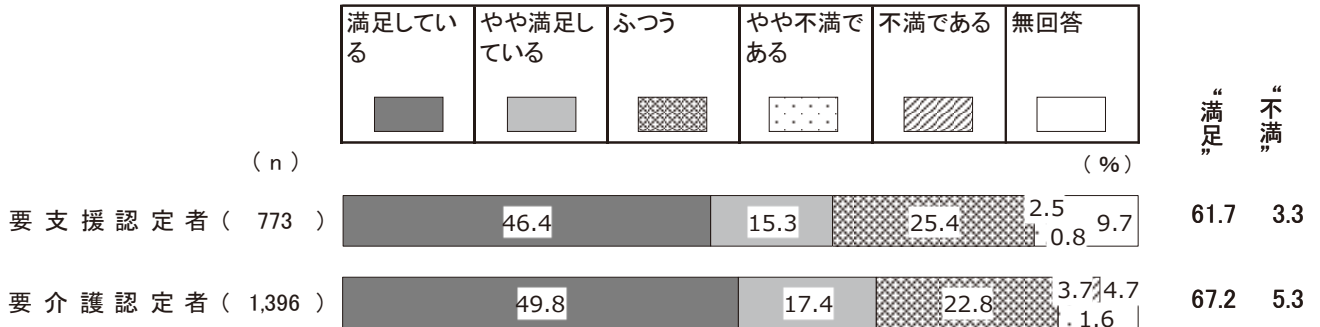
(複数回答)



(4) ケアマネジャーに対する満足度

①満足度

○介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と無回答を除く）と回答した人のケアマネジャーに対する満足度は、“満足”（「満足している」と「やや満足している」の合計）が、要支援認定者では61.7%、要介護認定者では67.2%と、“不満”（「不満である」と「やや不満である」の合計）を大きく上回っている。

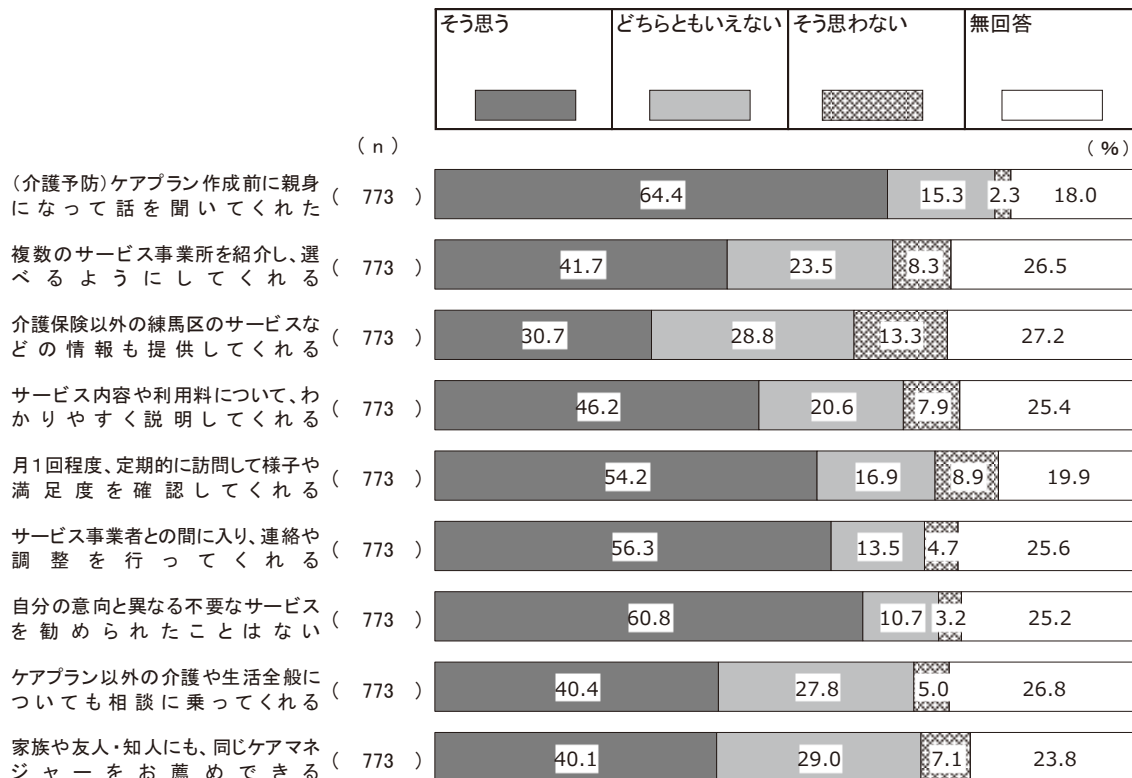


②ケアマネジャーへの考え

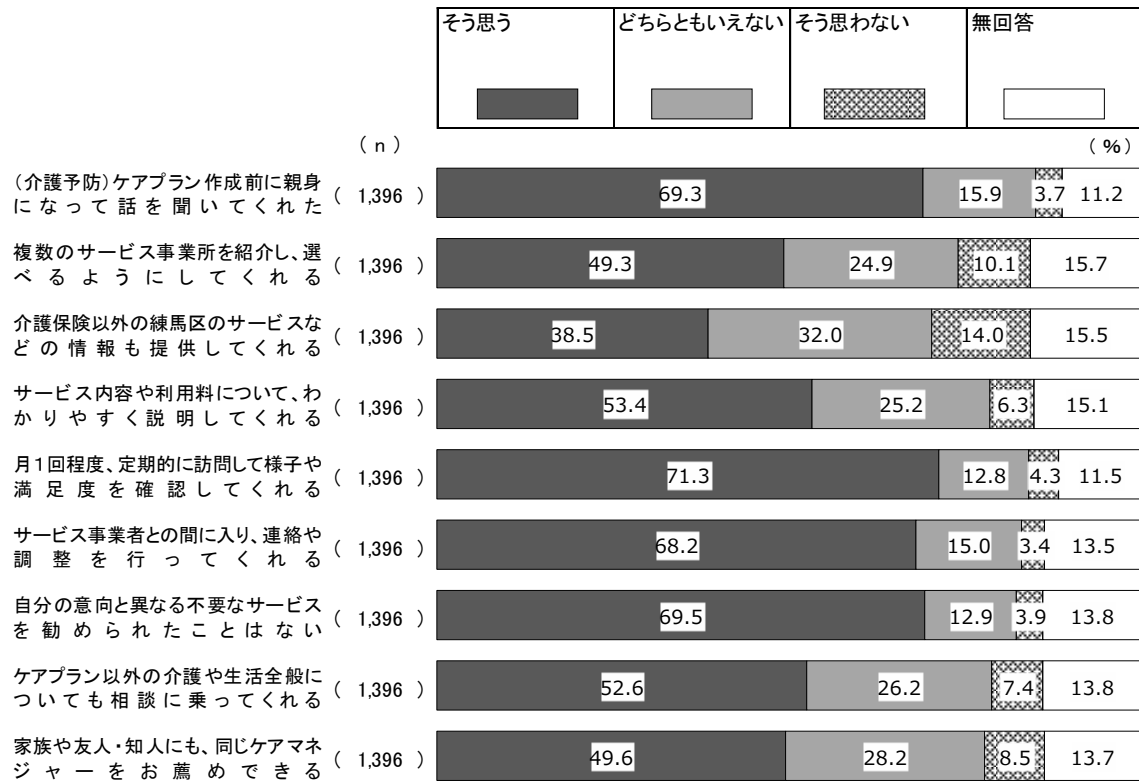
○介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と無回答を除く）と回答した人にケアマネジャーについてどのように感じているか聞いたところ、要支援認定者では「（介護予防）ケアプラン作成前に親身になって話を聞いてくれた」で「そう思う」の割合が64.4%と最も高くなっている。

○要介護認定者では「月1回程度、定期的に訪問して様子や満足度を確認してくれる」で「そう思う」の割合が71.3%と最も高くなっている。

（要支援認定者）



(要介護認定者)

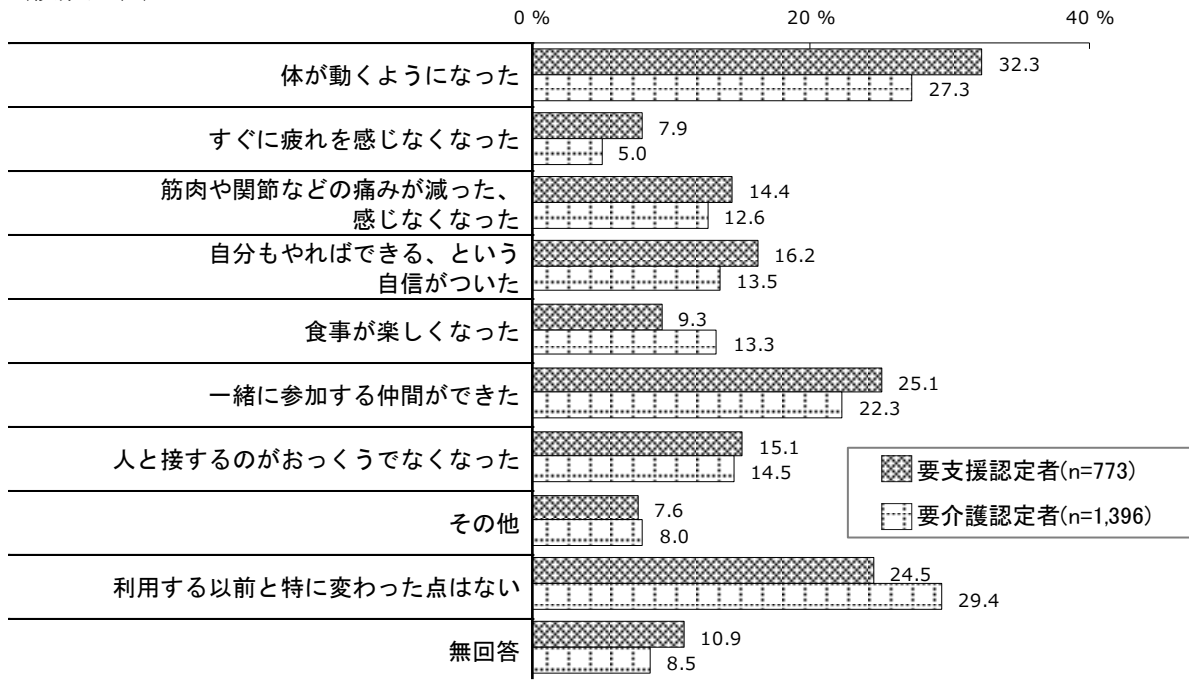


(5) 介護保険サービスの利用による変化

①介護保険サービス利用後の変化

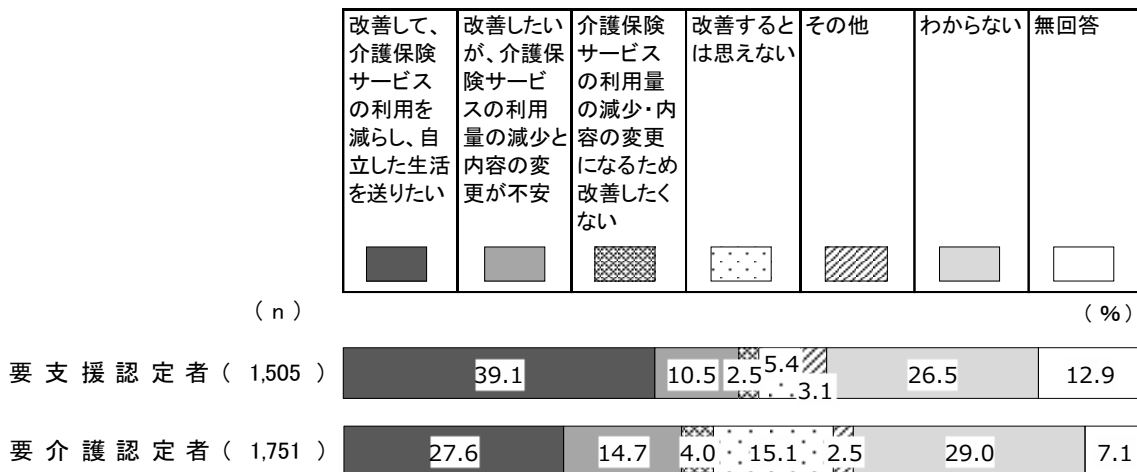
- 介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と「無回答」を除く）と回答した人の介護保険サービス利用後の変化は、要支援認定者では「体が動くようになった」（32.3%）が最も高く、次いで「一緒に参加する仲間ができた」（25.1%）の順となっている。
- 要介護認定者では「利用する以前と特に変わった点はない」（29.4%）が最も高く、次いで「体が動くようになった」（27.3%）の順となっている。

(複数回答)



②要介護度の改善に対する考え

- 「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が要支援認定者で39.1%、要介護認定者で27.6%となっている。



[要介護度の改善に対する考え<年代別(要支援認定者、要介護認定者)>]

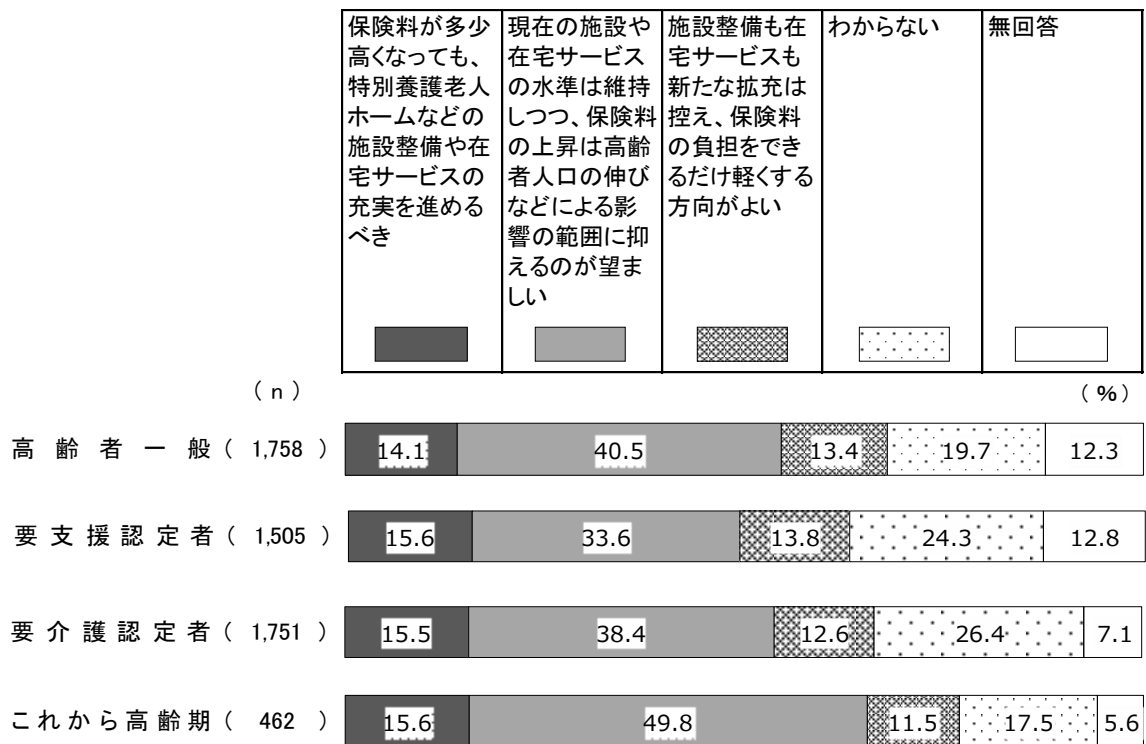
○年代別にみると、要支援認定者および要介護認定者ともに「前期高齢者」は、「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が「後期高齢者」と比べて高くなっている。

	n	改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい	改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安	介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない	改善するとは思えない	その他	わからない	無回答
要支援認定者	1,505	39.1	10.5	2.5	5.4	3.1	26.5	12.9
前期高齢者(65歳-74歳)	143	44.8	15.4	0.7	5.6	1.4	23.1	9.1
後期高齢者(75歳以上)	1,284	39.3	9.9	2.6	5.3	3.1	27.4	12.5
要介護認定者	1,751	27.6	14.7	4.0	15.1	2.5	29.0	7.1
前期高齢者(65歳-74歳)	150	36.7	16.0	2.0	8.0	4.7	28.7	4.0
後期高齢者(75歳以上)	1,534	26.8	14.3	4.2	15.8	2.3	29.1	7.4

(6) 介護保険料と介護サービスの利用料

①介護保険サービスと保険料についての考え

○いずれの調査でも「現在の施設や在宅サービスの水準は維持しつつ、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑えるのが望ましい」が最も高く、高齢者一般で40.5%、要支援認定者で33.6%、要介護認定者で38.4%、これから高齢期で49.8%となっている。



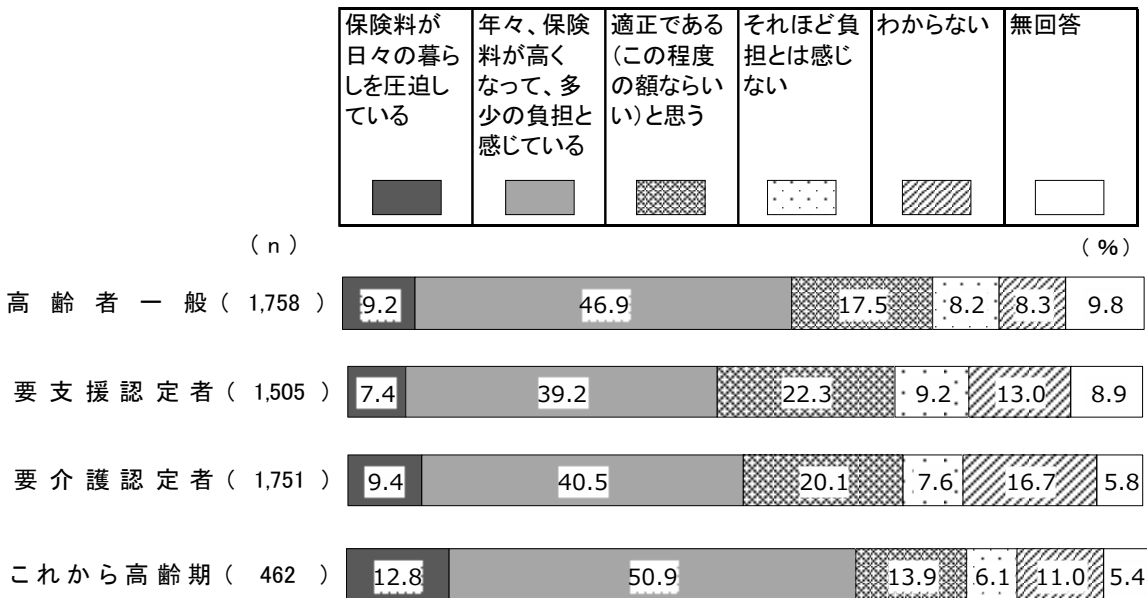
[介護保険サービスと保険料についての考え<暮らし向きを感じ方別(高齢者一般)>]

○暮らし向きを感じ方別にみると、“ゆとりがある”は、「保険料が多少高くなっても、特別養護老人ホームなどの施設整備や在宅サービスの充実を進めるべき」が28.1%で、他と比べて高くなっている。

	n	保険料が多少高くなっても、特別養護老人ホームなどの施設整備や在宅サービスの充実を進めるべき	現在の施設や在宅サービスの水準は維持しつつ、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑えるのが望ましい	施設整備も在宅サービスも新たな拡充は控え、保険料の負担をできるだけ軽くする方向がよい	わからない	無回答
全体	1,758	14.1	40.5	13.4	19.7	12.3
苦しい	522	7.7	32.4	23.0	23.6	13.4
ふつう	931	14.3	44.8	10.4	20.0	10.5
ゆとりがある	224	28.1	47.3	4.5	11.2	8.9

②介護保険料や健康保険料の負担感

○いずれの調査でも「年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている」が最も高く、高齢者一般で46.9%、要支援認定者で39.2%、要介護認定者で40.5%、これから高齢期で50.9%となっている。



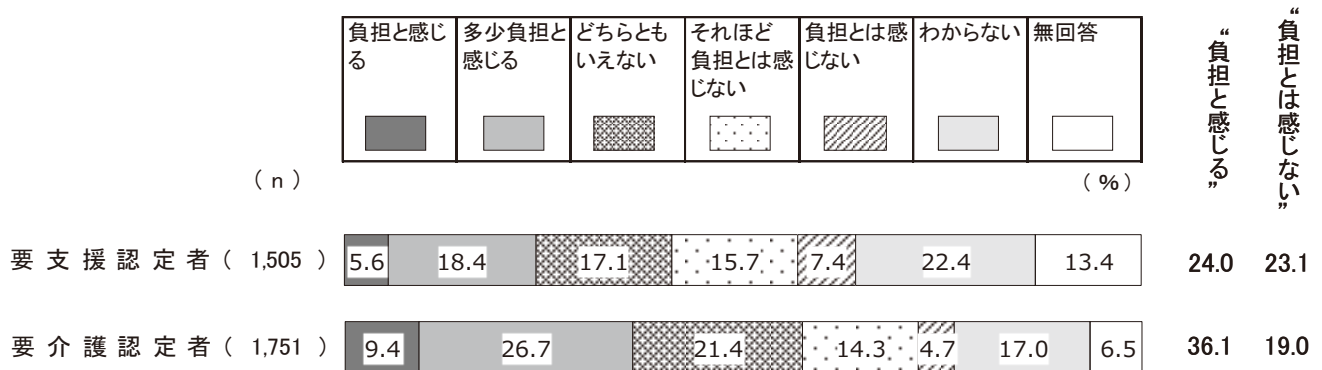
[介護保険料や健康保険料の負担感<暮らし向きを感じ方別(高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者)>]

○暮らし向きを感じ方別にみると、いずれの調査でも“苦しい”は、「保険料が日々の暮らしを圧迫している」が1割から2割で、全体と比べて高くなっている。

	n	保険料が日々の暮らしを圧迫している	年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている	適正である(この程度の額ならいい)と思う	それほど負担とは感じない	わからない	無回答
高齢者一般	1,758	9.2	46.9	17.5	8.2	8.3	9.8
苦しい	522	21.3	48.9	8.4	3.1	8.4	10.0
ふつう	931	5.0	48.8	20.6	7.7	9.5	8.4
ゆとりがある	224	0.4	39.3	28.1	21.4	4.0	6.7
要支援認定者	1,505	7.4	39.2	22.3	9.2	13.0	8.9
苦しい	431	16.0	43.2	13.7	3.7	14.4	9.0
ふつう	807	4.2	40.4	24.4	9.3	13.3	8.4
ゆとりがある	187	2.7	26.7	34.2	21.9	8.6	5.9
要介護認定者	1,751	9.4	40.5	20.1	7.6	16.7	5.8
苦しい	559	20.0	44.9	10.6	2.1	15.6	6.8
ふつう	934	4.2	41.3	24.1	8.0	17.9	4.5
ゆとりがある	194	0.5	26.8	30.4	22.7	13.4	6.2

③介護サービス利用料の負担感

○要支援認定者、要介護認定者では、“負担と感じる”(「負担と感じる」と「多少負担と感じる」の合計)は、それぞれ24.0%、36.1%で“負担とは感じない”(「それほど負担とは感じない」と「負担とは感じない」の合計)を上回っている。



[介護サービス利用料の負担感<暮らし向きを感じ方別(要支援認定者、要介護認定者)>]

○暮らし向きを感じ方別にみると、いずれの調査でも“苦しい”は、“負担と感じる”が3割から5割で全体と比べて高くなっている。

	n	負担と感じる	多少負担と感じる	どちらともいえない	それほど負担とは感じない	負担とは感じない	わからない	無回答	負担と感じる	負担とは感じない
要支援認定者	1,505	5.6	18.4	17.1	15.7	7.4	22.4	13.4	24.0	23.1
苦しい	431	12.8	22.7	15.3	8.6	1.4	24.8	14.4	35.5	10.0
ふつう	807	2.6	18.2	19.6	17	7.4	21.9	13.3	20.8	24.4
ゆとりがある	187	2.1	12.3	13.9	24.1	21.9	17.6	8	14.4	46.0
要介護認定者	1,751	9.4	26.7	21.4	14.3	4.7	17	6.5	36.1	19.0
苦しい	559	18.4	32.9	17.5	4.8	2.5	17	6.8	51.3	7.3
ふつう	934	5.6	25.9	25.2	16.2	4	17.8	5.5	31.5	20.2
ゆとりがある	194	2.1	13.4	15.5	34.5	15.5	12.4	6.7	15.5	50.0